

新スタイルの里山農業で ヒトと動物の共生社会を構築する



■チーム名

徳島大学 あいひと

■チーム紹介

私たちは、これからの地球や環境について多方面から考えるべく、違う専攻の学生でチームを結成しました。

■私達が目指す未来の地球(実現したい内容)

イノシシやシカなどの野生動物とヒトの好意的な棲み分けを行い、動物にとっても人間にとっても安全かつ住みやすい環境を構築する。

■どのように実現するか

徳島県の「にし阿波の傾斜地農耕システム」をモデルケースとし、里山が生物多様性の維持を行うことができることを活かし、産業と環境保全を掛け合わせた新しいケースを考え、地方に人を呼び込むことで関係人口を増やし、過疎化により里山の管理問題を解決し、里山の定期的な手入れで植生制御を行い生態系の維持を実現することで、野生動物が人里に下りてくる必要がない環境の構築を目指す。

■実現した際の効果

私たちが目指す未来の地球が実現した場合、野生動物は本来の生活を取り戻すことができ、野生動物による人的被害の減少、耕作放棄地の減少、さらに関係人口の増加による地域活性化に貢献できることが考えられる。また、生物多様性を保全し維持することで、豊かな日本の原風景をも取り戻せるのではないかと想像できる。

以上